

コード	402071001
記入日	H24.6.6

課コード	115
課名	農林課
課長名	幹 保孝
担当者	深浦 勝彦

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	林道鬼ヶ原線改良事業
----------	------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 19 年度 ~ 平成 48 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	2
基本事業コード	40207	基本事業名称	林業の環境整備	目コード	3
事務事業コード	4020710	事務事業名称	石油立地交付金事業費（林道）	細目コード	1076
関連計画		法令・条例規則等	森林法、長崎県林道事業補助金交付要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 森林所有者		(対象指標1)	246人			
(対象2) 地域住民		(対象指標2)	143人			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・改良延長 L=9,000m ・舗装幅員 W=3.6(4.0)m	(平成23年度) ・改良延長 L=1,077m ・舗装幅員 W=3.6(4.0)m	改良延長	3,540m	39.3%	改良延長÷ 計画改良延長	平成48年度
		改良延長	1,077m	100%		平成23年度
		① (達成率分析)	ほぼ計画どおりに進捗している。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・本路線は、平成12年度に全線開通し林業施業に利用されてきた。しかし、降雨による路面侵食、土砂の流失によって側溝が埋設し維持管理に多大な労力、経費を要している。また、側溝埋塞による林道本体への被害も発生している。よって、舗装事業を実施し維持管理に係る労力、経費の軽減及び災害防止を図るのもである。		進捗率	121,377千円	33.7%	実施事業費÷ 計画事業費	平成48年度
		進捗率	52,685千円	100%		平成23年度
		① (達成率分析)	ほぼ計画どおりに進捗している。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① m	9,000	3,540	2,463	1,077	1,077	356	700	700	700	3,004
	②										
成果指標	① 千円	360,000	121,377	68,692	52,685	52,685	15,617	22,265	22,265	22,265	156,211
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	465,000	138,877	82,692	56,185	56,185	19,117	25,765	25,765	25,765	229,711
直接事業費 A	千円	360,000	121,377	68,692	52,685	52,685	15,617	22,265	22,265	22,265	156,211
人件費 B	千円	105,000	17,500	14,000	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	73,500
内訳	従事職員数	人	15.0	2.5	2.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	10.5
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円	252,617	99,496	62,186	37,310	37,310	14,710	9,500	9,500	109,911
	起債	千円	97,800	17,600	5,600	12,000	12,000		12,100	12,100	43,900
	その他	千円									
一般財源	千円	114,583	21,781	14,906	6,875	6,875	4,407	4,165	4,165	4,165	75,900

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	林道管理者である町が行うべきである。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	改良済区間においては、車両通行の安全が図られている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理 由	本事業は計画どおりに進んでいるため向上させる余地がない。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	最小の経費で最大の効果をあげる設計で実施している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理 由	最小の人員で事業を推進しているためできない。	

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2 次 評 価	森林活動への労力及び災害防止のため計画どおり事業を進めること。
----------------------------	---------------------------------

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。